



癒しのトイレ研究会 会長
高柳 和江 (たかやなぎ かずえ)
医療法人社団葵会
元日本医科大学准教授
一般社団法人癒しの環境研究会 理事長
笑医塾 塾長

トイレが「くさい」のは、日本の病院と福祉施設だけかと思ったら、意外にバチカンのレストランが臭いました。ローマのレストランのトイレは地下にあるところが多く、階段を半分降りたところでニオイが漂ってきます。元々トイレットペーパーを流す習慣がないか、詰まるので禁止しているのか、使用後のペーパーを大きな蓋のないかごに入れておくこともあります。

病院と福祉施設において、ニオイの問題はあちこちでよく耳にします。昔は病院の消毒臭と言われましたが、最近はくさい消毒薬を使いません。でも、臭う。施設独特のニオイもあります。

米国の施設へ行った時のトイレでさえ臭わないのは、広い部屋で掃除が行き届き、換気が整っているからでしょう。人々、欧米の病院のトイレは個室の数が少ないのですが、中は車いすでダンスができるくらいに広いところが多いのです。

日本の病院は、ロビーは広く、洗面所も最近はそこそこ広いのに、トイレの個室だけは両手で壁を触ってやっと移動できるくらいに狭い所も。換気が悪く、設備品にもニオイが染み付きます。ニオイを除くには、「1.ニオイのもとを絶ち」、「2.トイレの掃除」、さらに、「3.汚物室などの内で汚物の置きっぱなしを避ける」など対策が掲げられています。

最初の設計の段階で、ニオイを減らすための対策を考えて設計しているか、金科玉条のように狭々しい空間に、造花の花を置いているだけなのかを胸に手を当てて考えるべきでしょう。

米国のホテルでは、洗面所の中にコーヒーを持って入って、そのソファに座って飲む人もいます。まさに、レストルームなのです。

病院のトイレは、患者さんがひとりになれて、自分で排泄ができた時に、人間回復を実感できるところでもあります。日本の病院や福祉施設のトイレが患者さんや利用者さんにとって、ニオイのない快適なレストルームになる日は、いつでしょうか。癒しのトイレ研究会は、その一端を担うことができるよう、頑張っています。

癒しのトイレ研究会とは



より良い病院・福祉施設のトイレ環境づくりを目指して、トイレ関連企業が結束して2000年に発足しました。

発足以来、調査・研究を重ねて毎年研究誌を発行し、学会発表や各種セミナーなどを継続してきています。

癒しのトイレ研究会のホームページ

<http://hospitality-toilet.jp>

病院・福祉施設のトイレづくりに役立つ、さまざまな情報を掲載しています。

- 病院トイレの豊富な現場実例
- 病院トイレづくりのポイント
- 清掃やメンテナンスの方法



癒しのトイレ研究会の研究誌

癒しのトイレ研究会は発足以来、病院と福祉のトイレづくりの調査・研究の成果をまとめた研究誌を、毎年発行しています。

ホームページから閲覧・ダウンロード、さらにお取り寄せいただけます(無料)。

